

## 2008年・全労済地域貢献助成金申請書<子ども分野>全5枚 (上限100万円)

申請日: 2008年 3月 31日

### 1. 申請団体の概要

(ふりがな)	とくていひえいりかつどうほうじん ほっとねっと			
団体名	特定非営利活動法人 ほっとねっと			
団体代表者	氏名	役職	職業	
	(ふりがな) いう みつる	理事長	団体役員	
伊藤 満				
分類 (該当するものに ○を付けて下さい)	1. NPO法人      2. 任意団体      3. その他の法人(      )			
設立	2002	3月	(注)任意団体からNPO法人になった場合、任意団体の設立年月を記入して下さい。	
団体住所	〒630-8133			
	奈良県奈良市大安寺1-23-1県解放センター			
	(TEL)0742-64-0015		(FAX)0742-64-1640	
	(ホームページのURL)http://www.bllnara.jp/hotnet/top.html			
申請活動の 主担当者	氏名	役職	職業	
	(ふりがな)てらまえみか	理事		
寺前美加				
団体との 関わり	1. 常勤(有給)    2. 常勤(無給)    3. 非常勤(有給)    4. 非常勤(無給)    5. その他(      )			
主担当者の 経歴	奈良新聞社勤務・奈良 人権・部落解放研究所勤務・ほっとねっとの有給スタッフとして現在に至る			
主担当者の 連絡先	〒			
	同上			
	(TEL)090-8233-9172		(FAX)0742-64-1640	
	(E-mail)npohotnet@yahoo.co.jp			
団体設立の 背景・団体の ミッション	<p>(背景・思い)長年メンバーが関わっている部落問題や他の人権問題への啓発、取り組みの形骸化をなんとかしたい。人権教育が環境教育、福祉教育、平和教育など様々な異分野と深いつながりの中で行われるようにしたい。最近の子ども(そして大人も)は空間、時間、仲間を奪われることによって「生きる力」をなくしていることも差別、格差を助長しているのではないかと感じ、なんとか[3間]を取り戻したい☆次世代に引き継げるような豊かさをもつ持続可能な社会作りに寄与したい。</p> <p>(ミッション)社会にある差別(格差)をなくすために、個々人の「生きる力」を養い、それぞれが自尊感情を持ち、自立する社会作りに寄与することを目的とする。</p>			
スタッフ数	有給スタッフ:      1名      /      ボランティア:      30名程度			
財政状況	(単位は万円)	前々年度決算	前年度決算	今年度予算
	年間収入	470万円	599万円	454万円
	年間支出	375万円	549万円	454万円
活動状況	活動対象者	子ども、情報弱者、困難を抱えた若者とその親、人権担当の教員・行政職員・企業関係者	活動日(活動回数)	①年10回 ②年10回 ③年80回 ④年40回

不採択

※本申請書は子ども分野の書式です。

(整理番号:08/子どもー )

	活動場所	①冒険遊び場「ひーとびーとの森」②ひーとびーとの菜の花畑③水平社博物館④カフェ	利用者数(1回平均)	20人
--	------	---	------------	-----



5. 申請活動の実施スケジュールと実施体制(助成対象期間:2008年8月~2009年7月)

<p>活動のスケジュール</p>	<p>8月上旬…畑の耕し。黒豆・ひまわりの種まき。(磯城郡田原本町「ひーとびーとの菜の花畑」)              10月中旬…冒険遊び場「ひーとびーとの森」で薪割り、火おこしから始める料理づくり。              11月上旬…黒豆・ひまわりの収穫。畑の耕し。              11月中旬…菜種の種まき(ひーとびーとの菜の花畑)              11月下旬…収穫した黒豆・ひまわりをつかったクッキーづくり(冒険遊び場「ひーとびーとの森」)              12月中旬…収穫した黒豆をつかった味噌作り(冒険遊び場「ひーとびーとの森」)              3月中旬…菜の花畑で除草、追肥作業              4月下旬…菜の花畑で開花した花のもと、秋に収穫したひまわりからとれた油でてんぷらパーティ              5月下旬…黒豆でつくった味噌で、味噌汁づくりとおにぎりづくり。(ひーとびーとの森)              6月中旬…菜種刈り取り。種収穫。              7月下旬…収穫した種で油搾り体験。</p>																			
<p>実施体制</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="272 808 704 869">(ふりがな) 氏名</th> <th data-bbox="704 808 1455 869">役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="272 869 704 943">伊藤満</td> <td data-bbox="704 869 1455 943">統括</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 943 704 1016">北場好美</td> <td data-bbox="704 943 1455 1016">事務局としてスタッフ人選・広報</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1016 704 1090">立花正義</td> <td data-bbox="704 1016 1455 1090">現場管理</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1090 704 1164">陶山充子</td> <td data-bbox="704 1090 1455 1164">食材・料理担当</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1164 704 1238"><del>菅原美造</del></td> <td data-bbox="704 1164 1455 1238">畑作業指導</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1238 704 1312"><del>菅原美造</del></td> <td data-bbox="704 1238 1455 1312">畑作業、料理など役割きめ、現場管理など</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1312 704 1386">古川正也</td> <td data-bbox="704 1312 1455 1386">事務局として会計</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1386 704 1458">寺前美加</td> <td data-bbox="704 1386 1455 1458">事業全体の企画立案・進捗管理など</td> </tr> </tbody> </table>	(ふりがな) 氏名	役割	伊藤満	統括	北場好美	事務局としてスタッフ人選・広報	立花正義	現場管理	陶山充子	食材・料理担当	<del>菅原美造</del>	畑作業指導	<del>菅原美造</del>	畑作業、料理など役割きめ、現場管理など	古川正也	事務局として会計	寺前美加	事業全体の企画立案・進捗管理など	
(ふりがな) 氏名	役割																			
伊藤満	統括																			
北場好美	事務局としてスタッフ人選・広報																			
立花正義	現場管理																			
陶山充子	食材・料理担当																			
<del>菅原美造</del>	畑作業指導																			
<del>菅原美造</del>	畑作業、料理など役割きめ、現場管理など																			
古川正也	事務局として会計																			
寺前美加	事業全体の企画立案・進捗管理など																			
<p>後援・協賛・共催等で協力を受ける団体</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="272 1458 704 1503">組織名</th> <th data-bbox="704 1458 1455 1503">協力内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="272 1503 704 1599">青少年自立援助センターブルーム</td> <td data-bbox="704 1503 1455 1599">味噌作りの指導。子どもの団体行動への指導。</td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1599 704 1695"></td> <td data-bbox="704 1599 1455 1695"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1695 704 1792"></td> <td data-bbox="704 1695 1455 1792"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1792 704 1888"></td> <td data-bbox="704 1792 1455 1888"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="272 1888 704 1980"></td> <td data-bbox="704 1888 1455 1980"></td> </tr> </tbody> </table>	組織名	協力内容	青少年自立援助センターブルーム	味噌作りの指導。子どもの団体行動への指導。															
組織名	協力内容																			
青少年自立援助センターブルーム	味噌作りの指導。子どもの団体行動への指導。																			

## 6. 申請活動の予算書

①収入の部(単位:円) ※1000円未満は切り捨てとして下さい。

区分	内 容	金額
申請助成金	全労済地域貢献助成金	493,900
自己資金		284,800
寄付金		
他の助成金		
その他		
	収入合計	778,700

②支出の部(単位:円) ※1000円未満は切り捨てとして下さい。

費目	摘要(内容、算出根拠)	金額	助成金充当額
物品購入費	種代7000円(黒豆3kg3000円、ひまわり1kg4000円)、農機具代20000円(鎌、くわ2000円×10本)	27,000	27,000
	味噌作り材料(こうじ9000円、もち米5000円、麹菌500円、塩2400円、ホワイトリカー2本3000円、灯油代3600円、ミンサー40000円)	63,500	63,500
	料理材料費(野菜・小麦・調味料など10000円×3回)	30,000	30,000
	搾油機	300,000	300,000
借り上げ料	耕運機3500円×2回、トラック5000円×2回	17,000	17,000
人件費	講師謝金(味噌作り、料理指導、農作業指導)10000円×3	30,000	30,000
	スタッフ謝金(6人×4000円×11回)	26,400	26,400
	事務局スタッフ(5600円×4回×12ヶ月)	268,800	
通信費	広報チラシなど郵送料(80円×100箇所×2回)	16,000	
	支出合計	778,700	493,900

7. 他の助成金の受給状況(前年度および今年度分)※現在申請中のものもご記入下さい。

年度	助成期間	助成機関名	金額	備考
19	2007.4~2008.3	大阪コミュニティ財団	145000	
19	2007.7~2008.3	奈良県中央善意銀行	144000	
19	2007.10~2008.3	ならシルクロード博国際交流財団	80000	
20	2008.4~2009.3	大阪コミュニティ財団	136000	



## 2. 現在の活動内容

現在の活動内容	<p>☆冒険遊び場「ひーとびーとの森」(奈良県宇陀市榛原区)の運営。自己責任で自由に遊ぶ「プレイパーク」の精神を大事にしながら、自然観察や料理教室、工作教室などを開催。</p> <p>☆「ひーとびーとの菜の花畑」(奈良県磯城郡田原本町)で菜の花プロジェクト。休耕田に菜種を植えて、花を咲かせ、種を収穫。種から油を搾り、食用に。使用済みの油はろうそく作りや石鹸作りしようするなどして、環境問題や食の安全についての啓発活動。</p> <p>☆情報弱者のためのIT支援。主にパソコン初級講座。</p> <p>☆水平社博物館とその周辺地域でのガイド活動。</p> <p>☆ワークショップ型人権、環境研修の開催。</p> <p>☆ニート・引きこもり・軽度発達障害者など困難を抱えた人の支援活動。話を聴くことや、就労支援、居場所づくり</p> <p>☆外国人旅行者との交流活動</p> <p>☆環境イベント「アースデイ」への参画</p>
---------	--

## 3. 申請活動内容

活動名	「食べる」ということについて、親子で楽しく学ぼう		
助成申請額 (単位:円)	前年度「全労済」 からの 助成の有無	1. 助成を受けた(金額: 円) 2. 助成を受けていない	
地域社会からの 必要性・目的	<p>子どもも、大人も時間的にも物理的にも遊ぶこと、食べることに前向きになる余裕がなくなってきている。そのことで個人にも社会にもさまざまな支障をきたしている。そんな親子、子どもと指導者に、遊び、ともに作り、食べる時間と空間と仲間を提供して、子どもたちの健全な育ちに寄与したい。</p>		
	<p>休耕田に夏に黒豆、ひまわりを植えて、秋に収穫したものを食材にして参加者で料理をして食べる。秋に菜種を植えて、夏に収穫した種で油を搾り、食材にして参加者で料理をして食べる。種を植えてから収穫までの作業も親子、または子どもと児童館の指導者などの大人とともにやる。収穫物を食材の中心にした料理をつくるのは、屋外で、まきわり、火おこしなどからはじめて、電子レンジもない昔の人の知恵に楽しみながら学べるようにする。</p>		

全済部経企発第 08-009 号

2008 年 7 月 2 日

特定非営利活動法人 ほっとねっと

伊藤 満 様

全 労 済

執行役員経営企画部長 崎田 弘

(職 印 省 略)

## 「2008 年全労済地域貢献助成事業」選定結果のご通知

この度は「2008 年全労済地域貢献助成事業」にご応募いただきまして誠にありがとうございました。

全国より 600 団体を上回る多数のご応募をいただき、厳正なる審査の結果、54 団体（環境分野 44 団体、子ども分野 10 団体）の助成団体を決定いたしました。

今年度の本助成事業に対しましては、予想を上回る多数の優れた案件のご応募をいただきました。どの団体も意義のある活動をされており、選考には大変苦慮致しましたが、貴団体の案件につきましては誠に残念ながら採択に至りませんでした。

なお、個別団体の採否理由に関するお問い合わせにはお応えできませんので何卒ご了承下さい。審査の結果や選考上の論点については、「全労済地域貢献助成事業・審査講評」および「全労済地域貢献助成事業選考結果について」を同封させていただきましたので、是非次回のご参考にしていただけると幸いです。

末筆になりましたが、貴団体の今後一層のご活躍をお祈り申し上げます。

以 上



4. 申請活動の期待される効果、目標、次年度の展望

<p>期待される効果 (子どもへの影響)</p>	<p>食材のできるまでや、料理のできるまでのプロセスも体験することで「食べる」という重要なことを理解でき、主体的な感性でとらえることができることになり、他のことにも意欲的、主体的に取り組むきっかけとなる。世の中のありとあらゆるものを「循環する」という目でとらえることができるようになることで、将来の世の中をしくみから自分たちで創造していける力を少しでも養うことができるのではないかと思う。</p>
<p>期待される効果 (地域社会との連携・コミュニティー形成・再生への貢献)</p>	<p>地域の人に農作業や体験行事に関わってもらうことにより、少しずつ環境問題や地域あげての子育てなどについての思いの共有の輪が広がり、防犯や見守りなど、昔の相互扶助の精神の再生につながることを期待。</p>
<p>目標 (活動を通じてどのようなステップアップをはたすか)</p>	
<p>次年度の展望 (活動の展開)</p>	

## 2008 年全労済地域貢献助成事業（子ども分野） 審査講評

全労済地域貢献助成事業（子ども分野）  
審査委員長 広岡 守穂（中央大学教授）

全労済では、2007年9月に創立50周年を迎えたことを機に、これからの50年を展望し、たすけあいの輪を広げ、積極的に地域社会に貢献しようという趣旨から、助成の対象分野を、従来の環境分野に子ども分野を加え、「全労済地域貢献助成事業」として実施してきました。2008年全労済地域貢献助成事業においては、環境分野2,000万円、子ども分野1,000万円の内訳で、助成総額3,000万円ということで実施しました。

子ども分野は、今年が2年目です。応募数は全国から予想をはるかに上回る320件にもなりました。もともと、子ども分野1,000万円という助成総額から、10件程度という採択を予定していましたが、たいへんな倍率になってしまいました。

わたしたちは320件の中から、全労済地域貢献助成事業のプログラムの趣旨にもっとも合うとみられる10件を選び採択しました。

わたしたちが選考をすすめる上での基準で特に重視したのは、①申請活動がコミュニティーの形成、発展、再生へ及ぼす効果、影響が大きいかどうか、②子どもの健やかな育ちへの貢献度が高いかどうか、③団体および活動の発展性、社会的波及効果が大きいかどうかという点でした。

そしてまた、従来の取り組みを継続する活動よりも、従来の活動をいっそう充実させる活動、団体として新たな取り組みをする活動、モデル的な活動として注目されそうな活動に目を向けました。さらに、その中で「全労済地域貢献助成事業」の名のとおり、より地域に密着し、より地域社会に貢献する活動という視点で選考をすすめました。

申請内容をみると、どれも子育てや子育てのために熱心に活動してきた人たちの経験と意欲に満ちたものばかりでした。内容に甲乙をつけられるものではありませんでした。ですから審査委員の間でも、最初の段階では意見が分かれました。

そこで審査委員会では、採択事業が似たような活動にかたよることがないように、活動の形態がなるべく多様になるように配慮することにしました。

それらの中から、我々は前述の重視した点を基に、この「全労済地域貢献助成事業」の趣旨により近い活動をされている団体を採択いたしました。ですから、採択された団体と採択されなかった団体に関して、その活動内容に対するわたしたちの評価にそれほど大きな差があったわけではありませんでした。

わたしたちは活動の輪が広がっていくことを願っています。

ここに採択されたか採択されなかったかを問わず、だれかが起こした活動が、人々の共感を得て、波がおこるように広がっていくことを願っています。

全労済地域貢献助成事業（子ども分野）では、助成額のうち半分までを人件費にあてることができます。使い勝手のいい助成です。これからも上手に全労済地域貢献助成事業を活用していただいて、子育てと子育てをささえる活動の輪が社会全体に広がっていくことを応援していきたいと思えます。



中日本事業本部 (中部・近畿)	EPO中部(環境省中部環境パートナーシップオフィス)	新海 洋子
	特非) ユースビジョン	赤澤 清孝
	特非) 地球と未来の環境基金	古瀬 繁範
西日本事業本部 (中国・四国・九州)	EPOちゅうごく(環境省中国環境パートナーシップオフィス)	松尾 健司
	特非) ふくおかNPOセンター	古賀 桃子
	特非) 地球と未来の環境基金	古瀬 繁範

## 2) 環境分野特別助成及び子ども分野

- ①全労済地域貢献助成事業事務局で要件確認を中心とした予備審査を実施しました。
- ②外部有識者などで構成される審査委員会を全労済本部(東京)にて審査委員会を開催し、助成先を内定しました。

### <環境分野>特別助成審査委員 (敬称略)

	所属	氏名
審査委員長	静岡大学農学部教授	小嶋 睦雄
審査委員	環境パートナーシップ会議	伊藤 博隆
	特非) ESD-J(「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議)	村上 千里
	松下電器産業株式会社 社会文化グループ	東郷 琴子
	特非) 地球と未来の環境基金	高橋 広明
	全労済	田戸岡 勉

### <子ども分野>審査委員 (敬称略)

	所属	氏名
審査委員長	中央大学法学部教授	広岡 守穂
審査委員	特非) 神奈川子ども未来ファンド	米田 佐知子
	中央労働金庫 総合企画部 CSR企画	山口 郁子
	株式会社富士通総研 経済研究所	渥美 由喜
	社) 日本フィランソロピー協会	高橋 陽子
	全労済理事・東洋大学社会学部教授	森田 明美

※全労済地域貢献助成事業は、環境分野においては特定非営利活動法人地球と未来の環境基金、子ども分野においては社団法人日本フィランソロピー協会の協力を得て実施しています。

## 2008 年全労済地域貢献助成事業選考結果について

全労済地域貢献助成事業事務局

2008 年全労済地域貢献助成事業にご応募いただきまして、誠にありがとうございました。ご応募いただいた 627 団体の中から厳正な審査の結果、54 団体（環境分野 44 団体、子ども分野 10 団体）を選考し、総額 28,701,000 円を助成することを決定いたしました。以下の通り、その概要をお知らせいたします。

### 1. 応募総数および助成決定団体数について

( ) は 2007 年実績

助成の種類	応募総数	助成団体数	助成金額
環境分野一般助成	214(211)	33(47)	9,286,000 円 (12,616,000 円)
環境分野特別助成	93(91)	11(16)	9,681,000 円 (14,877,000 円)
環境分野小計	307(302)	44(63)	18,967,000 円 (27,493,000 円)
子ども分野	320(132)	10(11)	9,734,000 円 (10,900,000 円)
合計	627 (727*)	54 (113*)	28,701,000 円 (49,067,000 円*)

\*2007 年の応募総数、助成団体数、助成金額には、創立 50 周年事業として 2007 年のみ実施した子ども分野一般助成の数字（応募総数 293 件、助成団体数 39 件、助成金額 10,674,000 円）が含まれています。

※助成団体名等につきましては、7 月下旬に全労済のホームページ (<http://www.zenrosai.coop>) に掲載予定です。

### 2. 審査体制について

選考については、環境分野、子ども分野それぞれで、外部有識者等による審査委員会を実施いたしました。

#### 1) 環境分野一般助成

①全国 4 地区で審査委員会を開催いたしました。また予備審査などの選考過程には全労済職員も参画しました。

②審査委員会で選出された助成候補団体について、環境分野審査委員長と審議のうえ、助成先を内定しました。

#### <環境分野>一般助成審査委員（敬称略）

地区名	所属	氏名
北日本事業本部 (北海道・東北)	財) 北海道環境財団	久保田 学
	特非) せんだい・みやぎNPOセンター	紅邑 晶子
	特非) 地球と未来の環境基金	古瀬 繁範
東日本事業本部 (関東・甲信越)	特非) 市民活動情報センター・ハンズオン! 埼玉	西川 正
	特非) まちづくり情報センターかながわ	梶谷 有華
	特非) 地球と未来の環境基金	古瀬 繁範